

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミ II	チーム名	チームチャイナタウン
タイトル	KOBE 南京町		
テーマ群	d) 国際経済 f) 歴史・思想		
メンバー			
研究計画内容	<p>岡田ゼミ II の我々チームチャイナタウンは、2018 年に生誕 150 周年を迎える、神戸南京町について調査・研究することとした。このテーマを取り上げる理由として、今でこそ日本を代表する中華街の一つであり、関西屈指の観光地となった南京町だが、戦後の混乱など様々な困難を乗り越えて迎えたメモリアル・イヤーが本年度であることを、もっと知ってほしいと考えたからである。そもそも、神戸開港当初、中国（清朝）が日本の非条約国であったことから、雑居地にしか住むことができないという、時代の流れとはいえ不当な扱いを受けてきた歴史を持ちながら、その後の神戸の発展を支え、神戸の人々にとって忘れることのできない出来事である阪神淡路大震災における復興の手助けを率先して行ってくれたのは、紛れもなく南京町に住む華僑の人たちである。そのような人々に対しての注目度をもっと高めていきたいと考える。我々自身、2017 年が神戸開港 150 周年であったことは知っていたが、引き継いで今年南京町が 150 周年を迎えるということは知らなかった。この記念すべき年にインゼミテーマとして南京町を取り上げる意義は、「神戸における国際交流」を研究テーマに掲げる岡田ゼミにとって極めて大きい。</p> <p>今回の発表は、南京町の 150 年の歴史と、これを記念して催されるイベント、横浜・長崎という他の 3 大中華街との比較、甲南大学の外国人留学生を対象としたアンケートなどを盛り込んだ内容となっている。さらに実際に我々が南京町に足を運び、中華街の組合の役員から貴重な話を伺ったフィールドワークについても紹介する。そして、これらを我々なりに分析して、150 周年を経て、南京町と神戸がどのように発展していくべきかを纏めた内容となっている。</p> <p>この発表を通じて、華僑と日本人の共存共栄の関係をより深めることの大切さと、南京町の目指すべき方向性を伝えたい。</p>		